

笑顔が一番

令和6年 8月
今江こども園
二木 恵子

本園でのお迎えでの親子の会話です。「今日ね。〇〇をしたんだよ。」「へえー。楽しかった?」「うん。それからね……」話はどんどん続き、お家の方は、ずっと「うんうん」とうなずきながら子どもの話を聞いていました。献立棚の前で「今日の給食全部食べたよ」「すごーい。えらいね!」こんな会話をしながら帰る親子は笑顔に包まれています。そんな親子の様子に、私も心から幸せな気持ちになり笑顔になります。

今回は、引き続き 原坂一郎さんの「笑顔だけで子どもが変わる」 から今度はお母さんの笑顔が増えるお話を紹介します。

お母さんに笑顔が増える法則

① そのかわいらしさをキャッチする 子どもは親が笑顔になれることを毎日している

こんなことはありませんか。子どもとお風呂に入って、新しいシャンプーのふたが固く私が開けにくそうにしていると、それを見て「貸してー、開けてあげる。」家に小さな子どもがひとりいると、思わず笑ってしまうようなおもしろいこと、楽しい出来事が次々起こります。ところがそのとき、笑うどころか、それで腹を立てる親もいるようです。「(大人でも難しいのに)あなたに、開けれるわけないでしょう!」と言って怒っていませんか。日本中を見渡せば、毎日100回笑い合っている親子もいれば、笑うどころか100回怒り、怒られたという親子もいます。

町で前を歩くお母さんの後ろをゆっくり歩いていた子どもがちょっと本屋さん立ち止まろうとしただけで、お母さんに怒られていました。でも、子どもが同じことをした時、一生懸命に自分の後ろをついていく様子、目を輝かせ絵本を見つめる様子に、何とも言えないかわいらしさを感じ取っている親もいます。



子どもは皆、親を笑顔にするようなかわいらしいこと、声を出して笑ってしまうほどおもしろいことを、今日もたくさんしているのです。叱ってしまったことも、腹が立つどころか、実は笑顔になれたことだったかもしれないのです。

「子どもは親を一日100回笑顔にしてくれる」というのは、大げさでもなんでもないので、もしかしたら「親次第で」という言葉をつけなくてはいけないかもしれません。子どもはだれでも親を笑顔にすることをしています。それをわざとイライラのもとにするのは実にもったいない話です。

② 悩みを次々探さない その悩みも来年には”解消済み”

子育てには悩みはつきものです。お子さんをお持ちの方なら、困っていることや悩んで

いることが今現在も、きっといくつもあると思います。

「昨年の今ごろは子どもの何を悩んでいたか、一つでも思い出せますか?」と聞かれて、ほとんどの人は答えられないでいます。忘れていたのです。忘れた理由はふたつあります。

「子どもの成長とともに解消された」「解消はされていないが、子どもはそんなものだ」と気づいて気にならなくなった」のどちらかです。また、お母さんが陥りがちなのは、ひとつの悩みが解消すると、その悩みが消えたことを喜ぶ間もなく、次の不安を探し出し、どんどん新しくつくっていくということです。これでは、永遠に悩みを抱えてしまいます。

今、抱えている悩みも、きっとそのほとんどが何で悩んでいたかさえ思い出せない状態になっていきます。

子どもに対する「不満探し」をやめ、「満足探し」をしてみましょう。ウソのように悩みが減り、どんどん笑顔が増えますよ。

「不満探し」の目で人やものを眺めていると、「悩みのタネ」は、次から次へと、勝手に見つかっていくものです。自分の笑顔のものは、本当は今も目の前にたくさんあることに気づかないで…。子どもは今日も親が笑顔になれることを、たくさんしているのです。



③ 本当の気持ちを言葉で伝える 親の本心を知ると子どもは安心

運動会、発表会、卒園式と、親は子どもの様子を見るだけで、子どもがかわいくて、成長がうれしくて、感動の涙を流します。これが、親の子どもに対する気持ちです。

ところが、残念ながらその気持ちは肝心の子どもに伝わっていないことが多いのです。

逆に、「そんなことでは小学校にいけないよ。」とか、「こんなことも出来ないなら、〇〇組さんに行ってもらおうよ」親の口から出るのは、こんな事ばかりで本当は子どもを心から愛していることは伝わりません。

寝顔ではなく、直接言おう

普段子どもを叱ったり小言を言いすぎたりすると、夜、子どもの可愛い寝顔に向かって「今日叱ってばかりでごめんね」と謝ることはありませんか。怒りたくないけど怒ってしまう。わかっちゃいるけどつい……。といったところでしょうか。でも、本当にそう思っているのなら、気持ちの届かない寝顔でなく、起きている時に直接伝えてあげてください。



子どもには、「ごめんなさい」と言わせようとしてしまいますが、自分はなかなか謝れないものです。悪いなあと思ったら、親から「今日は、イライラして怒ってばかりでごめんね」と言ってあげてください。子どもは、すぐに「いいよ」と言ってくれます。むしろそんなお母さんが大好きなのです。

お母さんに一番似合う顔は笑顔です。お母さんにたくさんの笑顔がやってくるヒントをこれからも紹介します。

